

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	株式会社 興和工業所
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	〒467-0861 名古屋市瑞穂区二野町2番28号
工場等の名称	株式会社 興和工業所 名古屋工場
工場等の所在地	名古屋市瑞穂区二野町7番地21号
業種	製造業
業務部門における 建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	溶融亜鉛めっき
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

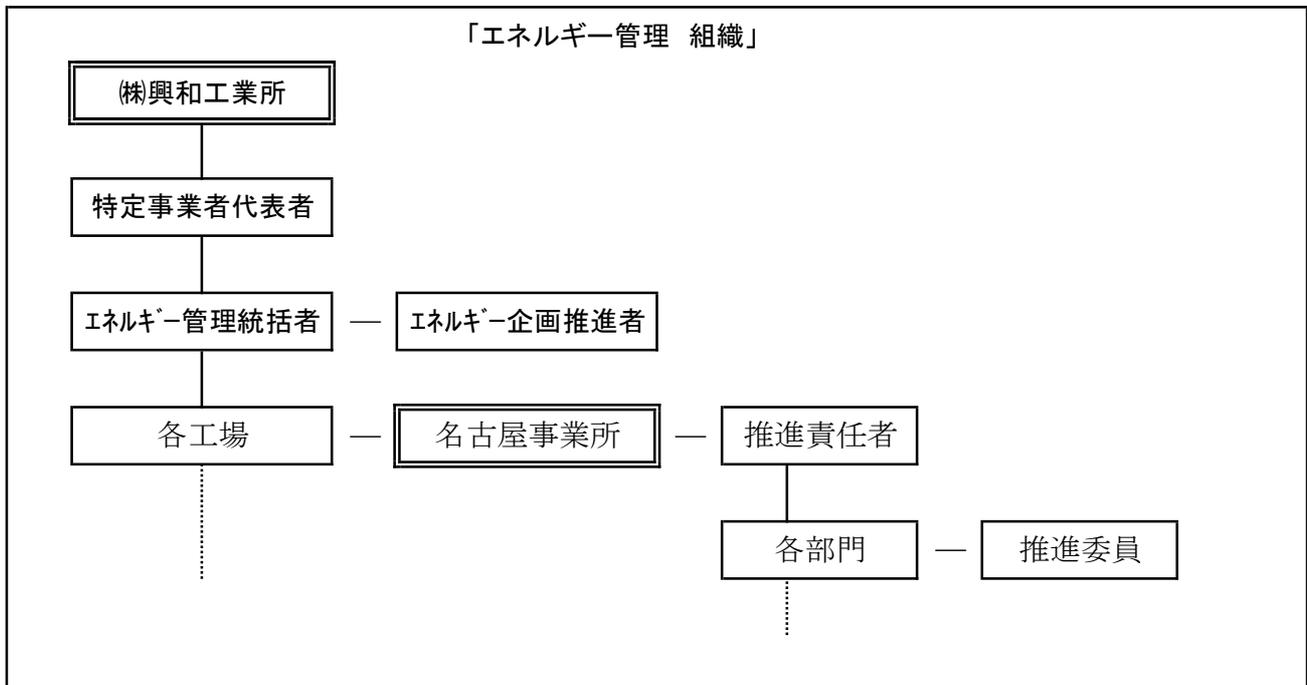
公表期間	令和4年5月25日 ~ 令和7年3月31日		
公表方法	○	揭示 閲覧	(場所) 名古屋西工場 事務所の窓口
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	(株)興和工業所 名古屋工場 ☎052-871-4721 都築		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当事業所は名古屋市の地球温暖化対策にかかる計画が、私たちの地球環境を守るうえで大変重要なものであると考えます。また、弊社企業理念にあります「環境への配慮」「地域への貢献」の考えとも一致しております。当事業所の全従業員へ啓発活動を通して、『省エネルギー』『省資源』『3R』への一層の取り組みを図ってまいります。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和3年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,558	t-CO ₂
①を （温室除く 二酸化炭素 換算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		3,558	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度 令和3年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和6年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂	

項目	基準年度 令和3年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和6年度 目標削減率	
	原単位あたりの 排出量	163.9	kg-CO ₂ / t	159	kg-CO ₂ / t	3.0

(2) 目標設定の考え方

平成30年度の排出量である162kg-CO₂/t（生産重量）を基準として一年間に1.0%ずつ削減し、三年後は3.0%削減することを目標とした。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

指針第1号様式

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
コンプレッサーについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアー漏れを無くし無駄な電力を削減 ・ 無駄なエアーの低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費電力の削減
冷房について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷暖房温度の適正化 ・ カーテンやブラインドを活用し冷暖房の効果を高める ・ 冷暖房時間の短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・ GHPエアコンのガス使用量削減
照明について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼休み等に不必要な照明を消す ・ 器具の省エネタイプへの変更 ・ 在籍中のみ使用する ・ 人感センサー・小電力機器への交換 ・ 水銀灯製造中止によるLED照明への交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費電力の削減
機械設備について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備更新時に省エネタイプを採用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費電力の削減
生産工程について	生産工程の見直し、改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産効率の向上
燃焼について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な酸素濃度に調整 ・ 蒸気ボイラーの圧力調整 ・ 配管保温 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガス使用量の低減
冷却・洗浄水について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な水量に調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水の使用量の低減
廃棄物について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の分別回収 ・ 廃棄物の量の低減 ・ 紙類のリサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排気量の低減

指針第1号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

--